



ハナモチ

【2020.5 名取九条の会】 **憲法9条は日本の宝**

名取九条の会ニュース NO66

名取九条の会（事務局 阿部 022-384-0888）

新型コロナ禍の中 改憲に執念 異常な安倍首相

5月3日憲法記念日、安倍首相は改憲派ウェブ集會にメッセージ。2020年内の改憲施行ができないとしながら、「改憲の決意に揺らぎは全くない」と憲法改正への執念をみせました。

新型コロナウイルス対策で日本中が何とかして乗り越えようとしている最中に、憲法99条の国務大臣等の憲法擁護尊重義務に違反し改憲を唱える異常さです。そこには、国民の命と暮らしがどんな天秤にかけても一番重いという考えはありません。自らの野望を何としてやりとげようとする執念が先に立っています。

解釈変更なし崩し危惧 首相ら「緊急事態条項」新設主導 閣議決定で「骨抜き」も

これは、5月4日の河北新報2面(政治欄)に載った見出しです。2014.7の集団的自衛権行使容認の閣議決定、翌2015.9の安保関連法強行に見られる解釈変更に対するの危惧です。記事では、東京高検検事長の定年延長で「法解釈を変更した」とする強硬姿勢や中東への自衛隊派兵が閣議だけで国会に諮らず決められたことへの政治評論家の問題意識などが掲載されています。

マスコミが危惧する首相の姿勢。新型コロナ問題を奇貨として緊急事態条項を憲法に位置づけようとする危険な策動。記事では、首相発言に対して木村草太氏が「火事場泥棒的で適切でない」と問題視したとも載っていました。権力に対するマスコミによる監視は重要と感じました。

九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。

コロナ危機は憲法の理念で打開へ

新型コロナウイルスの感染拡大を抑え込み、すべての市民の生活と事業者の経営を守り抜くためには憲法の理念を徹底して生かすことが必要ではないでしょうか。国民は憲法に自衛隊を書き込む明文改憲による「戦争できる国」を望んではいません。4月末の共同通信世論調査では安倍政権下での改憲反対が58%を占めました。

軍事費よりコロナ対策最優先。憲法25条の生存権。憲法29条に基づく休業要請への補償など、憲法を真に生かす政治こそが必要です。

九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。

◇5月3日のスタンディングに8名参加◇

